

施策名：食の安全・安心の確保

事業名	担当課・室名	ページ
食の安全・安心推進事業	食品安全・衛生課	2 / 6
食中毒防止対策事業	食品安全・衛生課	3 / 6
有機農業産地育成推進事業	おおいたブランド推進課	4 / 6
GAP実践農業者支援事業	おおいたブランド推進課	5 / 6
環境保全型農業推進事業	おおいたブランド推進課	6 / 6

事業名	食の安全・安心推進事業		事業期間	平成 15 年度～平成 年度	政策区分	安全・安心な暮らしの確立
					施策区分	食の安全・安心の確保
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	食品安全・衛生課	評価者	食品安全・衛生課長 佐伯 久

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	健康被害や偽装表示問題により食品に対する消費者の不安が発生している。	事業の目的	食の安全にかかるリスクについて正確に伝える(リスクコミュニケーション)こと、適正な食品表示を行うための講習会を行うことにより、食の安全・安心確保を図る。
-------	------------------------------------	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
食の安全・安心確保体制の確保	食品安全推進県民会議(会議2回、視察1回)、食の安全確保推進本部及び幹事会の開催、リスコミの開催	・迅速な情報提供を実施	総コスト	14,883	23,008	22,367
風評被害防止対策	消費者等が、風評被害に対する認識を高め、被災地の支援を行うための啓発活動	・周知広告・研修・イベントにかかる業務を民間事業者へ委託	事業費	2,883	8,008	7,367
食の安全子ども教室の開催	委託先：(株)大宣、COOPおおいた、(株)エイエフビイ	・講習会の開催を民間事業者へ委託	(うち一般財源)	2,883	2,316	4,703
中～大規模業者表示対策	園児、小学生を対象とした講習会の開催(14回・750人)	・(一社)大分県食品衛生協会に業務委託	人件費	12,000	15,000	15,000
小規模製造業者表示対策	食品関連事業者講習会(食品表示診断士セミナー)を開催し、受講済証を交付(1回、48名)	"	職員数(人)	1.20	1.50	1.50
	直売所に出荷する小規模事業者に対してマニュアルを作成・配布するとともに食品関連事業者講習会開催(34回)					

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								今後の課題	
活動指標	食品安全推進県民会議の開催回数(回)	目標値	2	2	2		a	・食品安全にかかる情報提供の方法や内容について検討	
		実績値	2	2					
		達成率	100.0%	100.0%					
	食品関連事業者講習会(回)	目標値		35	29				
		実績値		35					
		達成率		100.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								事業の成果	
成果指標	食のリスクコミュニケーション開催回数	目標値	60	60	60		a	食中毒及び感染症対策の食の安全にかかわる講習会や意見交換会を実施する事で、県民に一定の理解が得られた。	
		実績値	60	60					
		達成率	100.0%	100.0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・食品による健康被害を未然に防止するとともに、食品に対する県民の不信・不安を払拭する取組を強化する。				

事業名	食中毒防止対策事業		事業期間	平成 26 年度～平成 28 年度		政策区分	安全・安心な暮らしの確立
				施策区分	食の安全・安心の確保		
総合評価	B	継続・見直し	事業実施課(室)名	食品安全・衛生課		評価者	食品安全・衛生課長 佐伯 久

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	平成25年度、県内で敬老会の仕出し弁当を原因とする、喫食者846名、うち有症者396名となる過去10年間で最大規模の食中毒事件が発生した。 食品に起因する健康被害を防止するため、大規模な食中毒の再発防止策と高齢者への効果的な食中毒防止が課題となっている。	事業の目的	仕出し・弁当を原因とする大規模食中毒の再発を防止する。
-------	--	-------	-----------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
営業施設の汚染状況調査	施設へ立入調査を行い、拭き取り検査キット等を用いて施設の汚染状況等を把握し、把握した汚染状況をもとに施設へ指導(74施設)	・会議等での定期的な報告により効率的に情報収集	総コスト		8,654	8,740
高齢者への効果的な食中毒予防のための意識調査	高齢者に対しアンケートを行い、食中毒防止に関しての意識調査	・老人クラブ、福祉施設等との連携によりアンケートを実施	事業費 (うち一般財源)		2,654	2,740
			人件費		6,000	6,000
			職員数(人)		0.60	0.60

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (28年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
立ち入り施設数(施設)	目標値			90	90	90	b	・各保健所で行った検査結果についてとりまとめを行い、指導の資料作成アンケート結果に基づいた講習会の開催 ・アンケートは26年度で終了。27年度は講習会を行う	
	実績値			74					
	達成率			82.2%					
アンケート実施数(人)	目標値			250					
	実績値			270					
	達成率			108.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (28年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
仕出し・弁当を原因とする大規模食中毒発件数(件)	目標値			0	0	0	a	今年度の仕出し・弁当を原因とする大規模食中毒事件は発生していない。	
	実績値			0					
	達成率			100.0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き各保健所で施設に立ち入りふき取り検査等を行い、その検査結果についてとりまとめを行い今後の指導資料を作成 工程管理の重要性についての取り組みをすすめHACCPを推進(HACCP(ハサップ):危害分析・重要管理点方式の略。国際的に認められている、食品の安全を確保する衛生管理の手法) 高齢者への食中毒予防は、アンケートの結果からマスコミや講習会の場をうまく活用することが重要であることがわかったため、これまでの行ってきた講習会やマスコミへの情報提供を継続 				

事業名	有機農業産地育成推進事業		事業期間	平成 26 年度～平成 28 年度		政策区分	安全・安心な暮らしの確立
						施策区分	食の安全・安心の確保
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	おおいたブランド推進課		評価者	おおいたブランド推進課長 上野 通宏

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	本県では、平成21年2月に有機農業推進計画を策定し、有機農業を推進しているが、生産・流通基盤が弱いため生産量が少なく、経営が安定するまでに期間を要するなどの課題がある。	事業の目的	有機農業志向の新規就農希望者の受入体制を整備するための研修会への支援や流通アドバイザーを設置し、流通基盤を強化することで生産力の向上と販路拡大を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
有機JAS認証研修、有機生産推進研修	有機JAS認証取得研修会、有機生産推進研修会開催	・振興局、NPO法人等と連携し研修会を実施	総コスト	15,243	12,536	13,071
有機農業経営管理指標作成	水稻(3件)、野菜(5件)の経営者に聞き取り調査実施	・振興局と連携して調査を実施し経営管理指標作成	事業費	3,243	536	1,071
新規有機農業者等生産力向上支援	新規就農者3名に対して、先進的有機農業者1名を派遣	・振興局、おおいた有機農業研究会等と連携し、生産者や団体を支援	(うち一般財源)	1,128	536	1,071
有機JAS認証支援	有機JAS認証経費補助(3件)	・有機流通アドバイザーや振興局と連携し検討会実施	人件費	12,000	12,000	12,000
有機農産物等流通拡大支援	有機流通アドバイザー(2名)を設置、検討会を開催		職員数(人)	1.20	1.20	1.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(28年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
有機JASほ場面積(ha)	目標値		222	276	281	285	a	・振興局、おおいた有機農業研究会等と連携強化により、有機JAS認証取得を促進	
	実績値		222	276					
	達成率		100.0%	100.0%					
有機生産推進研修会参加者数(人)	目標値			50	55		a		
	実績値			52					
	達成率			104.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(28年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
有機JAS認証事業者数(戸数)	目標値		81	85	88	90	a	新規就農者に対して、先進的な有機農業者を指導者として派遣する生産力向上支援や有機栽培、経営に関する有機生産推進研修会を実施することで、有機農業者数が増加した。さらに、有機JAS認証研修会の開催や有機JAS認証経費助成支援により、有機JAS認証取得者も増加した。	
	実績値		81	85					
	達成率		100.0%	100.0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・振興局、おおいた有機農業研究会等との連携を強化し、有機農業者数、有機農業取組面積の拡大を促進
- ・おおいた有機農業研究会等との連携により、有機JAS認証取得を促進

事業名	GAP実践農業者支援事業 (※旧GAP普及拡大推進事業)		事業期間	平成 26 年度～平成 28 年度		政策区分	安全・安心な暮らしの確立	
				施策区分	食の安全・安心の確保			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	おおいたブランド推進課		評価者	おおいたブランド推進課長 上野 通宏	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	食の安全・安心に対する消費者の要望が強くなっており、食料・食品の生産から加工・流通・販売に至る全ての段階において、安全意識の啓発と衛生管理体制の整備など、安全な食料・食品を安定供給する体制づくりが求められている。	事業の目的	GAP(農業生産工程管理)の普及拡大による安全・安心な農産物の生産を推進するとともに、GAPの意義や利点について、消費者にも広く理解してもらうことにより、社会全体でGAPに取り組む機運を高め、安全・安心な農産物を生産・販売・購入できる社会を目指す。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
普及・標準GAP導入助成	普及GAP導入に係る分析費等の助成(1件)、JGAP指導員基礎研修受講料補助(7件)、JGAP等認証経費補助(2件)	・振興局、JA等と連携しJGAP認証取得を目指す生産者・団体を募集	総コスト	15,243	14,373	15,580
部会・参入企業へのGAP実践支援	JGAP等認証取得のためのコンサルを実施(12回)	・振興局、JA等と連携しJGAP認証希望者を募集	事業費	3,243	2,373	3,580
GAP指導員養成研修	GAP指導員を養成する研修に普及員が参加(19名)	・日本GAP協会と連携し、養成研修を県内で開催	(うち一般財源)	1,128	635	1,804
GAP推進検討会	各振興局、JA等と推進検討会議を開催(8回)	・JA等と連携し、地域の現状に応じた推進を実施	人件費	12,000	12,000	12,000
			職員数(人)	1.20	1.20	1.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (28年度)	評価	今後の課題	
								・養成したGAP指導者のフォローアップ	
養成したGAP指導者数(人)	目標値		68	77	87	97	a		
	実績値		68	77					
	達成率		100.0%	100.0%					
	目標値								
	実績値								
	達成率								

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (28年度)	評価	事業の成果	
								GAPの知識を有した指導員が、生産者に対して適切な指導を実施したことによりGAP導入農家数が増加。 GAPコンサル、JGAP認証経費助成など標準GAP認証取得支援により、標準GAPの取得者が増加。	
GAP実践農家数(戸数)	目標値		7,000	7,500	8,000	8,500	a		
	実績値		7,440	7,963					
	達成率		106.3%	106.2%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直売所など、GAP未導入の生産者に対してGAPを普及 ・既にGAPに取り組んでいる生産者等に対しては、より高度なGAPの導入を推進 ・養成した指導者のフォローアップとして、現地研修を実施 				

事業名	環境保全型農業推進事業		事業期間	平成 24 年度～平成 27 年度		政策区分	安全・安心な暮らしの確立
				施策区分	食の安全・安心の確保		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	おおいたブランド推進課		評価者	おおいたブランド推進課長 上野 通宏

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	環境保全型農業の取組は拡大しつつあるが、さらなる拡大やステップアップを目指すために、直接的な支援や栽培体系技術開発、普及・啓発および消費者への理解促進が課題である。	事業の目的	環境保全型農業直接支払交付金により、環境に配慮した農業を実施する農業者を支援するとともに、I PM実践活動モデル生産組織を支援することにより、環境保全型農業を推進する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
環境保全型農業直接支援対策	環境負荷低減の地理組実施生産者への支援 (189件)	市町村、振興局と連携し取組の拡大推進	総コスト	24,669	25,555	43,084
環境保全型農業への取組支援	I PM実践活動モデル生産組織の資材購入等を補助 (3件)	振興局と連携し、生産組織への働きかけを実施	事業費	8,669	9,555	27,084
環境保全型農業普及啓発対策	地産地消関連イベント及びメディアを活用したPR等	有機農業等に関するアンケートを実施	(うち一般財源)	7,423	8,646	8,921
			人件費	16,000	16,000	16,000
			職員数 (人)	1.60	1.60	1.60

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
環境保全型農業直接支援対策取組面積 (ha)	目標値		353	426	500	500	a	<ul style="list-style-type: none"> 未実施市町村への働きかけ 個々の農業者の取組から、地域において広がりをもった活動へ拡大 	
	実績値		371	402					
	達成率		105.1%	94.4%					
I PM実践活動モデル生産組織数 (団体数)	目標値		3	3	3	3	a		
	実績値		3	3					
	達成率		100.0%	100.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
環境保全型農業取組面積 (ha)	目標値		2,743	2,971	3,200	3,200	a	環境保全型農業直接支援対策の実施により、有機農業及び減化学肥料・減化学農薬等の取組に対して、13市町189件402haに支援し、環境保全型農業の拡大がなされた。また、生産者・消費者を対象とした環境保全型農業の啓発活動、販売促進活動を行い、有機農産物等への関心が高まった。	
	実績値		2,940	3,124					
	達成率		107.2%	105.1%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 環境保全型農業直接支援対策の面積拡大を推進 環境保全型農業の基礎となるI PM技術導入の推進 				